

# 大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校のnoteでも  
行事などの様子を  
発信しています！

## 地域のつながりに支えられて～探究活動とはま親制度～

大槌高校では、高校魅力化の取り組みが始まって今年度で4年目となり、地域と連携した学びの機会が、年々充実してきています。今回の広報おおつちでは、今年度特に地域と関わりの深い活動である、1年生を対象にした探究活動「SIMulation おおつち」と、はま留学生を対象にした「はま親制度」の活動について紹介します。

### 地域課題の解決策を構想する！「SIMulation おおつち」

1年生の生徒は「三陸みらい探究」という授業の中で、町の地域課題に対する解決策を構想する「SIMulation おおつち」という取り組みを行っています。大槌町議会に設定していただいた6つのテーマに対する解決策を、テーマに関係する事業所や住民のもとでの調査活動を通して構想していきます。

#### 高校生が構想する地域課題テーマ

- テーマ①  
大槌の資源を活かし、  
地域経済の好循環を図るための施策を考えよ
- テーマ②  
地域食堂（子ども食堂）を通じた  
食育（健康）を推進するための施策を考えよ
- テーマ③  
郷土芸能を活用した、  
交流人口拡大のための施策を考えよ
- テーマ④  
三陸鉄道の利用者数増加に向けた施策を考えよ
- テーマ⑤  
ふるさと納税で多くの寄付を集める施策を考えよ
- テーマ⑥  
震災の体験を風化させず、  
次世代に継承するための施策を考えよ

#### 大槌町議会によるテーマ説明会



10月11日（火）に、大槌町議会の芳賀潤議員、菊池忠彦議員、澤山美恵子議員、阿部俊作議員に本校へ来校いただき、テーマに関する説明をしていただきました。説明の後には、少人数のグループに分かれ、各議員と生徒の間で、地域の課題に対する質疑応答が活発に行われました。

#### 大槌町内フィールドワーク

11月4日（金）には大槌町内フィールドワークを実施しました。活動の前半では大槌町役場にご協力いただき、各テーマの所管課に対して、町としての取り組みをヒアリングしました。また、後半ではテーマに関連する施設や住民のもとを訪れ、施設見学や交流活動を行いました。



### はま留学生と地域が交流する「はま親制度」

1・2年生には、岩手県外から入学した「はま留学生」が在籍しています。そして今年度から、はま留学生が地域住民や団体と家族のように交流し、将来にわたって大槌町に関わりたいたいと思ってもらえるような関係を築くことを目的とした「はま親制度」を開始し、様々な活動を行っています。

今年度は個人・団体合わせて8組登録し、土日や長期休暇の期間を利用して交流を行ってきました。活動の内容は、お茶つき、畑仕事、釣り、地域のボランティアなど様々な形式で、どの活動も、県外出身の生徒たちにとってはとても新鮮で満足度の高いものになっています。また、はま親の登録者からも、「若い子の声地域に響き渡ることで活気が出る」といった感想が聞かれ、生徒とはま親双方にとって有意義な時間となっています。



#### 生徒の感想

- ・都会ではできない新たな経験ができて良かった。
- ・地域の方に温かく歓迎してもらい、安心して住める場所だと思った。
- ・大槌町の知らないことや進路の相談など、ざっくばらんに話せてとても楽しかった。